

会議結果の公表

附属機関等の名称	沖縄県立図書館協議会
日時	平成30年7月31日(火) 14:00~16:00
場所	沖縄県立図書館3階研修室
出席委員名	(8名) ①望月道浩会長、②豊見山恵美子副会長、③與座博好委員、 ④安里恒男委員、⑤金城由美子委員、⑥田中洋人委員、 ⑦友利清和委員、⑧呉屋美奈子委員、⑨、又吉 浩委員
議題及び報告事項	1開会 2. 議事(報告事項) ①図書館の運営状況について(平成30年度上半期) ②県立図書館評価指標に基づく図書館評価について 3. 委員の皆様より館への提言等 5閉会
議事の概要	報告事項に対する質疑応答を行った。 委員からの質疑及び提言は議事録のとおり。
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
所管課等	沖縄県立図書館
問い合わせ先	総務班 担当 大城・亀島 電話 098-834-1218
備考	

平成30年度第1回沖縄県立図書館協議会 議事録

日 時 : 平成30年7月31日(火) 14:00-16:00

場 所 : 沖縄県立図書館3階 研修室

出席者 : 9名 ①望月道浩会長、②豊見山恵美子副会長、③與座博好委員
④安里恒男委員、⑤金城由美子委員、⑥田中洋人委員
⑦友利清和委員、⑧呉屋美奈子委員、⑨又吉 浩委員

傍聴者 : なし

次第

- 1 開 会
- 2 館長あいさつ
- 3 議 事
- 4 委員の皆様から図書館へのご提言等
- 5 閉 会

〈議事内容〉

望月会長の進行により下記の3つの議事について事務局の説明及び委員からの質疑応答を行った。議事における発言要旨は以下のとおり。

〈議事①県立図書館の活動状況について〉

〈事務局より議題①について説明〉

委員

丁寧な説明ありがとうございました。個人的には交流ルームがすごく興味があります。その交流ルームの活用について、もう少しお話を伺いたいと思います。

事務局

交流ルームについては、特にビジネスに特化したエリアになっております。セミナーや相談会等も行い情報発信が出来る場所にしていきたいと思っておりますが、具体的活用方法は、これから計画する予定であります。オープンに向けてお知らせ出来るように検討中でございます。

委員

非常にいい映像でした。分かりやすかったです。新聞等で知ってはいましたが、空飛ぶ図書館での西表島の子どもの様子を見ても、良い形で続けられていると思いました。こうして映像で取組状況を見るといい取組をしていると思いました。また、ブラジル移民の資料の収集や図書館閉館時の様子なのでも関わっている職員のご苦勞が分かります。さらに、移転作業の段ボール箱が積み重なる映像を見ると大変な作業で準備をしているということが分かって大変良かったです。

委員

ブラジル移民の資料について、318冊の収集とありますが、この資料の整備状況と新館のオープン時（12月）に公開をされるのかどうか。日記等も含まれていると思われませんが、それらも公開になるかどうかお伺いしたい。

事務局

ブラジルで収集した資料につきましては、基本的には公開をする予定です。今はシステムへの登録作業をおこなっております。

委員

空飛ぶ図書館（移動図書館）の取組はすごくいいと感じました。今後も続けて行かれるのでしょうか。

事務局

移動図書館については、今年度は新館への移転のため、8月の9・10日の西表をもって、一旦活動は停止しており、1月から再開する予定です。1月には5村の移動図書館を予定しております。次年度以降も特に離島と僻地を中心に行っていきたいと思います。

委員

同じく空飛ぶ図書館でお伺いしたいのですが、どんな運営のシステムですか。移動図書館へ行った職員は、その場所に何日間現地において、来館者は何日間で本を返却しないといけないのか、教えて頂きたい。

事務局

市町村や場所にもよりますが、滞在期間は2日ないし、1日です。先ほどの映像にもありましたが、講演や各種団体等と一緒にイベントも開催しております。

委員

借りた本は、いつ返しますか。

事務局

個人で借りた本の貸し出し期間は1ヶ月です。

委員

また本を返しにくるということですか。借りた本はどこに返せばいいのか。

事務局

借りた本は市町村役場や関係団体へ返却いたします。

委員

移動図書館の本は基本的には1回しか借りることが出来ないのですか。1回借りられてしまったら、1ヶ月後に返却されたら、それで終わってしまうんですか。まだ借りていない住民が借りることは出来ないんですか。

事務局

個人で借りた場合、本の返却は1ヶ月後になりますが、個人以外には1団体で400冊貸し出しできるシステム（一括貸出）があります。

例えば、移動図書館に本を2千冊持って行き、6百冊の貸出があった場合、小学校・中学校・保育園または読み聞かせをしている団体に残った本を借りてもらうよう一括貸出の周知を行っています。離島だと1年間は本を借りることが出来るので、個人が借りて1ヶ月で返すよりも団体で借りて貸出している方が、より住民の方が何回も利用出来ることとなります。その辺も考慮して、なるべく持って行った本は、その島で活用できるような取組を行っています。

事務局

昨年度は久高島での移動図書館に南城市教育委員会の職員も一緒に行って、活動内容を見てもらいました。今後、南城市が中心となって取組むか、または県立図書館と一緒に活動していくか検討してもらいたかったので一緒に行きました。

今年度はうるま市の司書の方と行く予定です。うるま市には津堅島があります。以前は市の図書館が移動図書館を行っていたそうです。うるま市の図書館司書と久米島に行って移動図書館を体験してもらい、今後、うるま市として周辺の離島に対してどのようなサービスが出来るのかということを考えていきたいと思いますという事で取組を進めています。

委員

多分、人口にもよると思いますが、移動図書館に持って行く本は何冊ですか。あとその際に離島地域のニーズや展示の仕方等はアンケートか何かで地域住民のニーズ等を把握しているのでしょうか。この辺を教えて貰いたいと思います。

委員

この後、報告事項の中に出てくると思いますので、そちらの方で確認して頂くということで宜しいでしょうか。

委員

分かりました。

〈議事②平成30年度の県立図書館の運営状況について〉

〈事務局より議題②について説明〉

委員

離島・本島間図書館相互貸借促進事業の件につきまして、宮古、多良間、石垣図書館と本島（那覇市、浦添市、宜野湾市、琉球大学）とありますが、これをもっと大きく広げる計画はありますか。

事務局

離島・本島間図書館相互貸借促進事業の市町村図書館等からの要望等を把握しておりませんが、市町村図書館と確認して、予算やニーズを考慮しながら今後検討していきたいと思います。

委員

離島・本島間図書館相互貸借促進事業につきましては、過去に私も質問をしております。私の図書館では年間で10冊くらい離島図書館との本の貸し借りがあります。通常の相互貸借に乗せてしまえば依頼はホームページの図書館ポータルで出来ると思いますということを以前、話をしたことがあります。

事務局

今年度は、休館になってしまい、県立図書館との相互貸借は停止しております。新館の開館に向けて、検討していきたいと思っております。

事務局

この件につきましては、平成28年度に委員から質問がありました。その時には、予算的な部分があり、今後検討しますとの回答をいたしました。それともう一つは、県立図書館からの巡回車ですが通常は隔週で、市町村図書館等を回っておりましたが、新館に向けて、巡回車の方を委託をすることによって、毎週、巡回出来るようなシステムになっております。ですから毎週、収集出来るという部分でも変わってきていますので、ぜひ、改善していけるところは、改善していきたいと考えております。新館開館（12月）以降、もしくは平成31年度以降、ぜひ、検討していきたいと考えております。

委員

移民資料コーナーについてお伺いします。昔、ブラジルに住んでいたことがあり、丁度、今から40年前のブラジル移民70周年記念の時に今の天皇と皇后が皇太子妃だった時にブラジルを訪問されて、ブラジルでの日本社会がすごく騒いで、大歓迎で、連日連夜、大騒ぎをしていたのを覚えています。

ブラジルの移民資料を収集されているということですが、ブラジル以外にも沖縄県からの移民した人がいると思いますが、その他の国の資料収集の予定はありますでしょうか。

事務局

今後の予定ですが、予算との兼ね合いもございまして。今後、ブラジル以外でも資料収集していない国はたくさんありますので、事前調査をしてから予算措置等を含めて検討をしていきたいと考えております。

委員

2点ほどお伺いします。1点目は新館が12月に開館とありますが、いつまでに開館日の日程が決まりますか。多文化資料エリアの設置の際に上海ウィンドウの設置ということですが、上海図書館から寄贈された書籍を展示する際に原文のまま、中国語と英語のみの表記で終わってしまうのか。それとも日本語訳本もしくは翻訳という形もそろえてもらえるのかということを質問したいと思っております。

事務局

開館日程については、現在、開館日をいつにするか検討しております。今の時点で開館日をお知らせすることは出来ません。

上海ウィンドウについては、今、中国語と英語で書かれた図書を配下する予定です。翻訳した書籍の配下予定は、現在のところありません。今後検討しないといけないかもしれませんが、現在のところは配架は予定してございません。

〈議事③沖縄県立図書館の評価指標について〉

〈事務局より議事③について説明〉

委員

既に定められた指標に基づいての数値化ということですが、レファレンス件数という項目の中で、内部評価コメントに出てこなかった部分で、昨年度、地方創世レファレンス大賞を受賞されていたかと思えます。このあたりは数字に表れてこない部分になるので県立図書館の達成したものの一つとして、きちんと示していた方が、良いかと個人的には感じました。

事務局

評価については内部評価をしていますが、それ以外に委員からの話があったように、外部の方では、地方創世レファレンス大賞という文部科学大臣賞を受賞しておりますので、対外的には県立図書館のレファレンスは評価されていると考えています。

委員

課題解決型図書館の中で、沖縄県図書館協会主催研修等への参加人数についての項目があり、これが他の指標よりも大分、低い評価だと思えますが、市町村図書館等への周知の方法にも問題がなかったかどうか、検討されていますか。具体的に言うと市町村図書館等への周知の方法として県内図書館専用サイト（図書館ポータル）だけに掲載して文書の発送がないので、実際に派遣依頼文書の受付が出来なかった例もあります。市町村図書館等への周知の時期が研修日の1週間前や2週間前等、ぎりぎりだったりすることもあるので、日程調整がつかなくて出席できないこともあるので、周知の方法を検討してもらいたいと思います。

事務局

沖縄県図書館協会の研修についての通知ですが、確かに講演等についての講師の選定についても遅くなってしまい、市町村図書館等への周知にかかる時間が短くなり、参加人数が減少していると感じています。早めの講師の選定を行っていきたいと思います。ただ、昨年度は、1という厳しい評価になっていますが、各図書館への支援という部分では、昨年度は、8ミリ映画の上映会や巡回展も各図書館に積極的に行いました。図書館協会関連では、宮沢和史さんのCDを各図書館に配布できるように交渉いたしました。当初は1セットだけ配布される予定でしたが、各図書館では保存用と貸し出し用が必要だということなので、要望してもう1セット頂けることになりました。こちら評価の方には上がりませんが、その他の支援では、少しは出来たと考えます。市町村図書館等への研修会への周知方法については、新館に移転して、なるべく多くの方が参加出来るような形で考えております。11月に研修会がありますが、この研修会は場所と講師の方も決定していますので、早めに周知していきます。

研修会場には、県立図書館が利用できないので、JICA 沖縄国際センターを予定しています。会員の皆さんも利用したことが少ないと思い施設見学も兼ねて早めに場所を決めていますので、今後早めの周知を心掛けていきたいと思えます。

委員

平成18年度の「沖縄県立図書館のあり方」という理念を元に図書館評価の指標が作成されておりますが、当時と時代の流れの中で、踏まえつつ指標で評価していくところで、本来でしたら、もっと数値は努力した分、上がると思いますが、数値に反映できないことも多い。しかし、数値で頑張りを評価していくので、しかたない部分もあります。ただ、当初にもありましたが、活動状況や運営状況報告の中で様々な取組をしている空飛ぶ図書館の光景は、すごいと思いました。また、市町村教育委員会職員と一緒に西表の移動図書館に行き、職員のレベルアップを図っている。こういった取組は、すごく良いことだと思います。数値に反映されていないのは、もったいないと思いました。不易流行ということで、この12月からは新しい場所に移転し、これまでの指標は見直し、改善して頂いて新しい知の拠点として、県立図書館を運営して職員の頑張りを反映できるような指標をどう作って行くのかが、すごく重要だと思います。ですので、今日は、これまでを振り返っての評価ではありますが、12月以降の新しい指標は、準備されているのでしょうか。

事務局

図書館評価の指標は、昨年度の平成30年2月の図書館協議会において、平成30年度と平成31年度の指標についての話し合いをしておりますが、基本的には今年の12月から移転をするということで規模も大きくなりますし、様々な取組をしております。まだ見えない部分が多くあるということで、急に指標を変えることはリスクがあるので、平成31年度までは同じ指標となっております。ですので、移転後、平成31年度までは今の指標を使用するという事で決まっておりますが、移転して1年、2年過ぎて、新館での活動状況とか図書館のやるべきことが見えてくるとと思いますので、それを反映するという形で新たに平成32年度から評価指標を見直していきたいと考えております。

委員

委員の方からもありましたが、平成32年度から指標を見直すとのことですが、レファレンスの部分においては、やはり読書サービスの中の大事な部分であり、表現の仕方は色々あると思いますが、利用者のニーズの把握に努め、利用促進を図る必要があるとして基本方針評価にでていますが、とてもレファレンスは大事ですので、規模が2倍、蔵書数が3倍になり皆さんが期待をされており、なお、交通の便も非常にいいので、知の拠点となる県立図書館ですので、レファレンスは色々な面から検討して頂いて、より充実できる方法を見つけ出して欲しいと思いました。

事務局

貴重なご意見ありがとうございました。レファレンスの重要性については、当館も重々、承知をしております。新館においては、図書館の貸出業務については、今後は委託を計画しております。職員についてはレファレンスを中心に対応が可能になりますので、レファレンスサービスの充実に努めていきたいと考えております。評価指標については、委員からのお話がありましたが、平成18年の「今後の沖縄県立図書館のあり方」を検討し、評価指標を設定しております。毎年、3%ずつ増加していく状況もあって、評価については達成が出来ていないために、このような結果になっておりますが、数値的な評価以外については、出来るだけ外部評価で反映させていくことが出来たらいいと考えております。それと新しい評価指標については、新県立図書館基本計画の中で新たな基本方針がございますので、それに合わせて、こういった評価指標がいいのか、平成31年度の図書館の運営状況も踏まえながら検討していきたいと考えております。

委員

評価指標の目標設定の考え方自体が無理があると思います。市町村巡回車運搬冊数という指標があり、3%の増と書いてありますが、県立図書館がどんなに頑張っても、市町村立図書館の方から依頼されなければ、冊数も伸びない指標なので、こういった指標は要望に対して何%答えられたかのような形での評価指標でもいいと考えます。次に電子図書館の指標の中に「総合目録システムの参加館数」についての目標値設定の考え方に「毎年、1館ずつの参加増」とありますが、未設置図書館が毎年一館ずつ増えているわけではないので、ここも評価指標に無理があると思います。今年度に関しては未設置から1館増える予定がないので、例えば、新館開館した時や電子的な貸出や相互システムの導入をしている図書館が増えたときに、参加を推進していく等、評価指標の目標の設定の仕方でも良いと考えます。

委員

現状の定められている評価指標に基づいての展開の仕方もあるかと思いますが。今後の新館に向けての新たな指標に向けた検討も是非お願いしたいとの委員からの要望であったと思います。先ほど委員からもありましたが、冒頭に紹介して頂きました新聞報道も含めてテレビ等でも取り上げられているところが多々ありますので、そういったところも将来的には評価指標の中でうまく織り込めるような形を取って頂きたいと思います。県外では、メディア報道の件数なども評価指標に加えているところも多々見られるかと思うので、そういったところも含めながら情報提供を図って頂けたらと思います。

委員

個別指標の広域型図書館のWEBサイトの充実「高度なアクセシビリティの確保（利便性の確保）」の項目がありますが、具体的な指標として「ホームページのアクセス数及び Twitter フォロワー件数」になっています。Twitter よりはメールマガジンの方が、コンパクトに今月の新刊やイベント情報を配信することによって、ホームページのアクセス数も増えると思います。ホームページと Twitter の間にあるメールマガジンの方が、利用者には親切だと思います。

メールマガジンを配信することによって、ホームページを見にいかなくても、月一、二回程度まとまった情報をメール配信された方がいいと思います。例えば、「ているる」のメールマガジンは月1回程度、今月分のイベント情報が届きます。詳しい情報が知りたい時には、ホームページを閲覧します。その方がホームページのアクセス数も増加すると思います。フォロワー数やアクセス数もそうですが、ホームページの更新や発信した回数を考慮して評価指標の検討していく必要があると思われます。フォロワー増加件数に関しても単に増えるだけでいいのではなくて、Twitter へのツイート数も考慮しないと評価指標としては少し足りないと思います。

委員

最後の情報発信については、当初はアクセシビリティと WEB サイトの評価用のソフトを使用していましたが、県の方では使用出来ないということで、この部分の評価指標を入れなければならなかったと思いますが、次の新たな評価指標に向けてご検討頂ければと思います。よろしく願いいたします。

委員

質問ですが、電子図書館のデジタルコンテンツというのは、アーカイブなんですか。iPad とか端末に入れて、情報公開等しているものですか。

事務局

デジタルアーカイブを見せております。

委員

WEB サイトで見られるものですか。

事務局

WEB サイトで見れるようになっております。ホームページからアクセス出来ます。

委員

図書館の評価指標は中々難しいところがあって、検討すればするほどどのような指標でいけばいいのか、悩ましいところがありますが、ご検討頂けたらと思います。

委員

事務局の方から他に報告事項がありますでしょうか。

事務局

さきほどから、新図書館の移転の話はしておりますが、今現在のスケジュールを簡単ではございますが、ご説明させて頂きます。

<事務局より資料4（新館移転スケジュール）について説明>

会長

新館への移転スケジュールについて、ご説明頂きましたけれども、ご質問等ございましたら、あまり時間がありませんが、お願いいたします。

委員

よろしいですか。12月の早い段階で開館できることを願っております。本来でしたら最後に委員の方からのご意見を頂戴いただけたらと思いますが、大分、予定時間より超過していることもございますので、一端ここで議事進行に関しては閉じたいと思います。本日の協議会でのご意見に関しましては、検討して頂いて図書館運営に取り組んで頂けたらと思います。議事進行にご協力頂きまして、ありがとうございました。